

バストス週報

第八十八号 昭和廿八年 十月八日 発行

登録名義人 KOITIMORI 発行所 RUA PRES. VARGAS 188 BASTOS C.P.112 編集人 織田永春 誌代 一年 60¢ 外部 70¢

聖市四百年祭典と 日本人コロニアの協力

バストス聯合日本人會が聖市四百年祭典に協力... 協力を開始した。各支部の方にはあらまじり... 協力を開始した。各支部の方にはあらまじり... 協力を開始した。各支部の方にはあらまじり...

ALFAIATE MARUYAMA 聖子生諸君の卒業服 カザメント用の式服 五四年のホリニアが到着 丸山洋服店



サンパウロ市の生け立ち... 市の生産都市として降々たる躍進を続け... 市の生産都市として降々たる躍進を続け...

学校をコレパウロ市の名の起原となりま
 した。この十三名の僧侶の中には僅か十九才の
 ジョゼ・デ・ジャンシタもおり、彼はツロイ語
 を習得し現住民の教化に當って輝やか
 い功績を成しました。又がて附近の酋長達はその一族を引連れ
 てこの地に移住し来り、一五六〇年にはピ
 ラウニンは急激な発展を見るに至った
 と傳へられております。この一五五四年一月廿五日から教へて一
 九五四年は満四百年となり、この意義ある年を迎えるに當りてサンパ
 ウロ市は勿論フラジル挙つてこの年を記
 念し盛大な祝典を催すこととなり、また
 祝典総裁にはフランシスコ・マッタラゾ・ソ
 リンニヨ氏が推され、市内イビラパエーラ
 一帯の地を会場として、万国博覧会、美
 術展覧会、各種の国際學術文化会其他が
 開催される事となつております。日本
 政府としては伯國連邦政府駐日伯國
 大使館を通じての公式招待に對し、直ち
 に扶諾を興え、サンパウロ市四百年祭典
 に公式参加を決定し、日本國家が世界各
 國と肩を並べて堂々と参加するのであり
 ます。吾等在伯同胞もこれに對し、未
 得る限りの協力と奉仕とを捧げる事は誠
 に當然の事であり、母國政府の策謀
 は限られたものである事を覚悟し、母國
 係業者側よりの財源に加ふるに在伯同胞
 の據金を打つて一丸となし、万国博覧会日
 本参加の事業運営資金を構成して、以て
 日本参加に有終の美を克ち得させたいと
 存するものであります。

ナンパウロニそ我等の故郷
 日本人がサンパウロに移住を始めてから
 既に四十四年の歳月を逕過いたしました
 今日では北はアマゾナス州より南はリオ
 スランテドス・ル州まで驥足を伸ばして
 コロニア發展の礎を築いて参りました。が
 その母胎は實に我がサンパウロ州であ
 るたのであります。私達は其の一生を托し
 た地として、又幾多同族犠牲者を蒙つた志
 れ難い土地として、サンパウロ州こそ其の
 血を分つたものと言ふべきです。更に二世達の
 輝かしい将来の活躍地となりつゝあるこ
 とを想へば、ナンパウロは我々にとつて既
 に懐しいオニの母國であります。

我等協力の意義
 そのサンパウロ市創設四百年祭に當りて
 この記念事業に協力する事は、私達がこの
 地に榮え得た事を感謝すると共に、四十
 年前拓苦難の跡をフラジル歴史の一頁に
 綴り込む事にもなります。

フラジル在伯の各國民は、榮つてこの祭典
 に参加し、支々危大な予算を計上して着々
 その準備に没頭してまいります。

Jose Ignacio Pinto
 Fabrica de Jaca
 Rua Campos Salles 118 Bastos (em baixo do Cadaval)

Cafe' カフェ
 Eucalipto エウカリプト
 Laranja ラランジャ
 Limão リモン
 等 いろいろ
 種数 山
 仕立てあり

必ずつく立派な苗木
 数量多敷まゝとめて御注文の節
 は割引いたします
 ユーベイロ(苗圃)はスロリア
 区吉田与三吉氏のロッテにあ
 ります
 直接御いで下さつてもよし又上記籠屋へ
 御申込下さつても結構で御座います
 多少に拘はらず御注文下さい
 ジョゼ・イナシオ・ピント

日本人コロニアも他の國民に後れを取
 る事は許されません。

各自の能力に應じてこの四百年記念事業
 に参加することが日本人の声價を高める
 所以であり、またブラジルに協力するとい
 う吾々の誠心を表明する絶好の機会でも
 あります。

以上の如き考へから私達コロニアも奮然
 立ちあがつて、去る十二月八日の委員会総
 会に於てコロニアの総意に基き、聖市四百
 年祭協力会を結成し、左記の役員陣容を以
 て、愈々記念事業への協力態勢を整えるこ
 ととなり、ました。

サンパウロ市内に建つ博覧會日本館と日
 本式庭園に囲まれた美術館とが我がコロ
 ニアの記念塔として、この國の人々の私達
 の子孫と共に永遠に仰ぎ見てくねるよう
 に致し度いと存じます。

右達成の爲め何卒今後共一層の御協力御
 支援の程を偏にお願ひ申上げます。

以下次号より

養蚕室や鶏舎の
 建築用として最も適當
 アモストラ 御らん下さい

EUCALIPTO
 まつすぐな
 太さ長さ
 お好み次第
 カルボン
 上等木炭製造 御用命下さい
 エンテ アレスレ
 佐藤 利右衛門

アルマゼン セリアリスヌ
 佐藤 利右衛門 商會

ユーカリプト

お盆 風景 さま

お盆に雨はつきものだが、今年はお盆前の雨が多かったので、墓参りの二日間は、ふつて貰ひ度はなつた。花輪で満艦飾の墓地も一夜の雨でたたかれて衰れや造花一ツの栄衰ことに、はかなきは人の世の夢でございませうと坊さまのお説教そのまゝだった。

雨間の墓地にちらりほらり、展墓の人影、無縁佛の墓碑をコツク、靴の尖で蹴ってゆく若い男女の一群がある。墓参りらしくもなく腕を組んでの道邊、ナモトラしているように見えるらしい。追もあちらこちら、墓を縫ひ歩く。

一つ墓碑の梁がきれない程、花輪と背負えざるもあり、一本のワシツの上つて、林、杉木、の十字架もある。風雨にさらされて墓標の文字も消えはてた何百本の無縁塚。番号のシヤツバの喪失してゐるのも相当ある。地獄のサタも金次第が。

畑中さんらしい人が娘さんと二人で墓参りの道。一日の朝濡れた砂をふんで通ってゆくと、後から白色に近いスマートな車が追いついて止まった。何か二言三言話して居るうち、その白色の車は二人を車にのせて墓地へと走っていた。

畑中さんのような人は、やはり本物の畑中さんだった。娘さんは房子さんだった。造花を手にとり、若永さんや招本さん、脇山さん、溝部さん、と次々に押込んで花と一つづつ上げてゆくのである。そこであちこちに点在する知人の墓を探しては参つてゆくのである。合掌瞑目、暫し低迴ありがたしなごといふ深刻な様子ではなく、知人の門口を通りかゝる一寸声をかけてゆく様子を軽く足取りであった。

帰途も、とつきの白色の車であった。畑中さんあなたのお墓がないのですね、いやアわたしとこのはお隣さまで、ではお友人の墓参といふわけですが、そいすよ。皆さん、先へいってしまつてね。墓地にいくと、昔の同僚、部下、先輩といろく、なつかしい思い出があつてね。

半年前のバストス開設の功者者、追々老境に入らうとする畑中さんは、日ごとく、いろくとなつかしい思ふてを沢山を墓に持つて居られるだろう。

墓地 ナモトラなんかにくるところじゃない。畑中さん

んの外にも 知人友人の墓参に、る人は多いである。うが、娘さんを伴つて、とくに服装も、目だたないようにして、人知れず先駆者に花一本を捧げて、その冥を蘇ふ行為は、美しいといつてよいのか、中かしの限りである。

門前には例の如く納骨堂建設費不足金募集係、本年からは佛教會の御連中、行人の懐中も、粗い。之も佛縁あればこそ、信仰の灯を年に一度だけでも、かきもして喜捨の心を起しめるのも大きな功德でなくてはならない。

今年無事に收支決算がまゐり、来年のよいよ。寺別院など建設の案があるであろう。十年か、つてもい、お寺の一つも立てて成佛出来るよう信仰運動を起していただきたい。

大野法童師のお説教は、廿一日夜は雨と停電にたたられ、一日は、墓参で人集まらぬ僅か三十数人、法童師少の機嫌をわるくして係員にあらうよ、口調があつた。中々大敷いもんですわい。なんしろ雨が悪いのじゃ、方々の墓参客をあて込んで作った花輪もさうはり賣れんし、不景氣なこと。

皆様 浄まぢかねの

バストス開設廿五周年

記念 寫真帖

予ねて御支援を頂いております 記念寫真帖、予定より稍々遅れましたが、此程完成致しました故、御報らせ申上げます。

恐縮下々御出向の節御立寄り下されば早速御返申上げます。

寫真帖各刊に当り種々御協力下さった方々に下畧儀紙上にて厚く御礼申上げます。

寫真館

高田正雄 高谷幸一

ジュンジャイと ころく

2

午後は愈々待望のフアゼンタパライム見学
に赴く。午後一時半出發一行中八名のカメラマ
ンは手持ちのフィルムを使い果したので町で新し
く仕入れて、ほっとした面持ちで車上の人となる。
真ひるの太陽が容赦なく照りつけるので一目悲
鳴きあふた。それに道がよいのでカミニオンでも
遠慮なく追越して行くので見る間に塵が上衣に
溜る。ホエラとは奥地だけのものかと思つていたが
近郊も同じことだ。車は右手に谷を見下ろして山
腹を走つてゐるのだが所々に綺麗な菜園が点在
ると思ふとそこには必ず日本人が働いてゐる。大抵
り日本人の畑は遠くないなづき合ふ。

この辺は流石葡萄の産地だけあって山腹の斜
面を掘いた葡萄畑が連なりつてゐる。葡萄園酒
用のもの食卓用の種類と次第に展けては遠ざか
つて行く。約三十分後フアゼンタパライムの道標を
て道と左に折れ、暫く走つた後車を止めて道を
尋ねる。やがて行手に白壁片屋根の家が見えそれ
煉瓦建の立派なもので我等バスターの養鶏家
は、到着鶏舎とは思はれない。

西園長が来意を告げると事務所に案内さ
れたが養鶏場の事務所とは思はれない立派
さに一驚した。

青年が二人来て鶏舎に案内してくれた。ここは種
鶏場である。建物は煉瓦造りで天井には約五
十種位鋸屑が入れてある。運動場は全く完
全な屋舎飼ひで床にはカナナ屑が一尺厚に敷
き詰められ、窓は普通住宅の窓。大きで四米毎
に一つの割である。室内は薄く陰気であった。
種鶏はレクホン系統番種舎、イブリード種のものに
分れ更にイブリード種には、レクホン雌×ルブロネ
メロ種雄 及 ルブロネメロ雌×ハンシャー種との
二種があった。鶏舎の下は、バスターでいふと運
動場になるような場所にカネコを植えてある。
前以て話はきいてゐたがこんな立派な鶏舎と思は
なかつた。傾斜を考慮しないで植えたのと等
高線に植えたのがあったが、コヒシ園の係
員が不在だったので、同行の産業部伊藤昭
治さんに説明して頂く。

肥料は鶏糞だけとの事であった。鶏の飼料
配合を同ふと今頃の者が居なくて解りなから
あなた住所を書き下されば後でお送りする
とその案内の青年が言つてくれた。
一度事務所へ帰る暇卵を見せせて貰ふ。

アメリカ製の七万四千箇入が一台据つていた。それ
から数百個もするといふ英國系の種馬を見
最後にイブリード種の採卵鶏舎にオートバイで
案内するから是非見ていってくれ。そして帰りはこ
こを通らないで向ふの道から行けば近いからと云
つてくれるので、お礼を述べて事務所を出た。その
間にも、鶏舎から電話がかつてくるのである。支
那人が「今余合している。今カンピナスから齊鶏
を買ひに来てゐるが、お前の鶏舎には何羽居る
か」と話をしてゐた。各鶏舎に電話をとりつけ
てあるのだから驚かざるを得ない。又水道も完
備にして給水器は自動湯出式になつてゐた。事
務所の右手には大きな発電機が設置され、万
一の場合に身えてある。

イブリード種採卵場は谷の向ふの高台の上にあ
つたが、案内者がオートバイで先駆し我々のカミニ
オンは、その後を追つてゆく。ユーカー林の中をコヒ
園を過ぎて行くこと約一キロ、全長百五十米の大
鶏舎が忽ちと山腹に展ける。中に入ると廣間
があり、両側が鶏舎になつてゐる。ここには、レクホン
雌にルブロネメロ雄を配したものの、ルブロネメロ雌に
ユーカーシャー雄を配したものの、ルブロネメロだけの
もの等飼育され鶏舎一米に対する収容羽数

モチロン ポンプ

消火器も必要です

が、もっと大切なことは...

火災保険にかかつて置くことは
根本的な問題ではないでしょうか

これはぬ先きの杖

保険！ 保険！

これに限ります

僅かの負担でああなたの

財産を保護して

くれる

火災保険に

どうか、すぐ御加入下さい

一番信頼できる

スーパールアメリカ 保険会社

バスター取扱

バスター商業事務所

西

徹



は兼用種は三羽、白色レタホンは三、五羽とのこと。時に夕陽せまり其上、黒雲空を籠めて来たので、急ぎ帰路につく。

此の大規模な耕地を見学しながら、担任の技師が不在のため、金飼養鶏の可否。長程。又はイナード種の利点と将来性、カネ栽培の実際を聞き得なかつたことは非常に遺憾であった。又この様な立派な五羽を設備した鶏舎と我々の様な屋根だけの鶏舎で飼ふ鶏とどちらが成績がよいか、收支計算はどうか、又各鶏舎に担当者について、その鶏舎外のことはいくらか、各業が其のあてがわれた仕事のみで働くと言ふ企業法で果して、これ程の成果が上がるか、吾々にも大いに研究の余地がある。又カネ一樹と養鶏との組合せはバスターの将来に、何か多幸々々々を暗示し、充分考へて教唆し、余りあるものがあったと思ふ。

帰途寸暇をさいてフルケクルワラノバフワラダを見学した。此処の葡萄はサンパウロ一だ相である。フアゼムに入ると左半に青々と繁った木の枝に白い袋が鈴成りに下つてゐる。桃園である。次にリンゴ園を通つて家に着き、未意と考へると園主自、果樹栽培の話をしてくれた。又セツク時の灌水の状況も見せてくれた。三インチのパイプを縦横に走らせ、三十五馬力の電氣モーターで送水する。これが噴水口は二ヶ所にあり、三十米の遠距離まで目撃して、放水する仕組になつてゐる。三ヶ所も充分の濕りを与へる相である。ブドウエソも聖州一の名に恥ぢないものだった。寫真班は曇天と物とせず、忙し相に走り回つてゐた。バスターの葡萄は最早マモーナの實程になつてゐるのに、此処では今やと小豆粒位しかなかった。氣候の關係だろうか。

斜陽山頂にかゝる頃一同車上の人と有りホエラになやまされながら途中、チカリ林や手入れの行届いたブドウ畑を見下ろし、こんな急傾斜を拓きこへる立派な畑を作るには、どんなに努力と苦勞をしたであらうか。バスターでも此の辺の様に土地に通した作物を作るならば、将来益々發展する。いや必ず發展させる事ができると力強い感銘に浸り、此の視察旅行を終つた。小澤

ボニートな話

宮崎將義君は去る十月廿四日、祖父を亡くしたが、中史区の中合せで香典返しを麻し、その代り、納骨堂建設費へ、家政女学校増築費へ、イナード建築費へ、それ、金一封を贈ることになつた由である。

Aviso
A Junta de Alisamento Militar de Bastos. Instalada no Predio da Prefeitura Municipal, pede por nosso im. Nominado o Comparsamento dos seguintes Cidadãos:

- Antonio Gohara アントニオ郷原
- Goshuyuki Kawamata 河原ヨシユキ
- Morimoto Jocio 森元トシオ
- Toro Higuchi 樋口十郎
- Goshikihara Marushita 森下義治
- Caoru Hizen 平井 馨

前記の方は市役所兵事係より出頭を求められて居ります故、御忘れなく御出かけ下さい

アカラギ入選歌 (八月号)
バスター歌會より

賣きす位む人のなき牧の家 竹藪隈に
さりて小まき 小松 修 水
よろよろと六つの孫が稽古する 目撃車
を門に侍ちて見守る 吹本 菊子
白紙は木綿の柄も飛び立ちて翅をすなり
曇り日の午後 東野 曉 爪
着飾りて行き交う人を眺めぬる 破れ衣
素足の北伯移民 重道 千代子
毒草を食みて斃れし者ありと北伯地方の
早熟のニース 山本 一男

御礼

今回シヤカラ区土地を整理せられた記念として、金を三ト也、を本已の爲め有産に使用するようにと御寄贈下さいました、区員一同と共に厚く御礼申上げます
一九五三年十一月一日

シヤカラ区長 本田 正雄
南米銀行 吹本 次男 殿

巻 参 句 伏見 十一月一日例会

旅の日の或る一日や巻参り 古 雪
差建てることも捲きて巻参り 南天子
邂逅のボール約して巻参り 千 工
巻参り文字書き記憶まじくと 紀南子
彼の巻に人は、やく巻参り 古 雪

バス開設当時の思い出

続 スルツホの先生のことども

17 畑中仙次郎

女教員としてソロカバ市からアラシとジ
トバの姉妹が初めて来任した。当時はバス
トスには非常な山奥であり日本人のみの植
民地であつたので母親が時々若い娘達の
安否を見に来たものであつた。当局とし
ても特別な学校の先生の人選には大いに
意を用ゐられたものと思はれる。其の後
男教員を初めて任命された時もヒラシカ
ラバ市の師範を同期卒業でアントニオ
ラードの教師を一時に派遣した。何れも新
進鋭の良き先生で特にアントニオ・オリ
ベイラ先生の如きは永く教鞭を操られ信
仰篤いカトリックでもあり非常に責任感
の強い人である。其の教へ子にも優秀な
青年が輩出した。
二代目校長はアントニオ・ラスカノ氏
で相当長く務められたが誠に校長らしい
校長さんで子弟の教育に専念せられ又音
楽の造詣特に深く若い者に音楽を教へ又
バンドも編成せられた。今も当時の教へ
子は良い先生であつたと慕つて居る。
次はサンティアゴ・アスネカルウ・リヨ
先生がサントス市から見え任終えて又サ
ントス市の大きな小学校の校長に納つて
居られる位である。中々のやり手でア
ルモンド・サレレス州統領一行来訪の節は
大に活躍せられ又外國語教授禁止令実施
の前夜で敏腕を振はれた。
日系女教員では木下良江先生の事は前述
したが次に古賀政江先生がバウル市から
見えたがスルツホに居る四年受持先生であ
る。爾後長い間当地で教鞭を操られたがジ
ンマンシリア氏に嫁して今はアムンチ
ン・オと校長に累進して居られる。先生の移
り代りにはあつたが大抵最近の事に属し周
知の事でもあるから省略する。
以上を以て日本語の終焉及カルポの公認
が完全な日本語教育に移行して今日に立
ち至つた荒筋を畧述して見たのである。至
何分古い事ではあるが明らかならざるが
急点を述べては又は多少の相異があるかも知
れないが大體十五年間の過去の実績を通
看して見るのも強ち無駄ではなからう。
日本語小学校時代の校長は各々特長あり
教員として有資格の立派な方ばかりで
あり教員にも有為な人材が多かつた。又
ルポの方にも有為な人材が多かつた。又
情をよく呑み込んた通材が多かつた。

斯くしてバスト又初期の子弟教育は他地
方に比較して日本語と葡語と並行はれ
て遠かに恵まれた環境にあつたので其の
時代には教育せられた人達は誠に合せ
あつたと云ふ可きである。
今は成人して各方面に活動して押しも押
されぬ多岐の方面に活躍して居る事
は大に意を強うするに足るが、尚其の上
中学校の設立と共に奥地農村子弟教育の
完璧を期した偉業で今日に至つた。
其他の方面に各各に学校を建て教員訓練
の労と採り多額の経費を惜まず子弟の教
育に重点を置いて多くの人材を世に送り
出した事は他の事業にも優る大きな而も
有意義な仕事である。
然るに時代は人々を推移して將に二
世の時代と変わりつつあるがやがては三世
が社会人として現はれる時代も遠くは
ないのである。此の過渡期に於いて比較
的恵まれたるバストと云へども子弟の
教育には悩みが多い。バスト初期に教
育せられた人達は日本語教育にも力を注
いだから父母の良かれも継承出来ずラジ
ル人として取りかかぬ人物を養成する
事が出来た。
一九三六年にクルノ第一期卒業生を出し
たが西徹石の組であり翌年二期卒業生は
崎田君等の組である。此の当時は日葡語
を修得して居るので今も尚過渡期に在る
日本人社会に於て無くてはならぬ貴重な
存在となつて居る。
今日は更に時代が變つて總てクルノに於
て教育されつゝあるが将来立派な日系伯
人になるよう熱望してやまない。(つづく)

好評噴々たる

廣貫堂の家庭薬

農家必備の緊急薬

いざといふ時すな役に立つ
医師の見える迄の手當として
大変な好評を頂いて居ります

そんな薬が組合せてあるか？

腹痛止めに熊膽丸(ス) 一服でピリリとよまる
切傷吐傷にメンソレタム
スリリタにマキキ口軟膏
小児薬には有名な救命丸サントニシ虫下
大人熱さましに高級せんふく
せき止めには高級せんふくめ けスバライ
外に腹痛とんぶく、以上ソルチード
回強、十腕、喉痛にはASKISを御用意

アールマシアサキ

C.F 五五

座談會

4

バストスを再検討する

ドラードス 移民に觸れる

本田司会「すべて観点の相違かと思はれる、只今のバストス入植者を温室移民と評されたが、吾々が日本を去つ時の情態では、一種英雄気取りであった。逼迫の程度が違います。どうですドラードス移民の情態は？」

桑原「服装などは可なりな嗜好をして居りますか、覚悟は相当しつかりしています。九〇%は自分の犠牲に於て子供たちの安全幸福を求めぬ執持で少々のことではへこたれないと思つて居ります。娘さんなども百姓をする執持で日本に就き持て居る位です。心配はないと思ひます。」

司会「して見ると貪婪を戒むひいたのは畑中さんです。現地支配人として、今かう考へると、よくまああれだけの手をつくられたにも拘はらず、我々初期の移民は何かと不みをこねては畑中さんを困らせた。実にあの頃の移民は不遜であつたのです。」

畑中「そりやア、移民そのものの考へ方はちがわないんだが國策は全然ちがつてゐる。何とかして伯國に移民を止したいと思つてゐる時分はあるし、たしかに移民を大めに取扱つたことは、たしかだ。上からの指令もさうであつた。土地なんかでもね、現地の職員は移民地内へ土地をもつていかんことになつて居た。つまり日本から来る人々を考へていたわけだ。」

桑原「私は今度来た人達に教へたんだ。どうせ知らぬ他國へ行けば、死ぬ程の苦勞をする。甜でも泣かぬやんが、どうせ泣くなら大きく泣きなさい、そして早く泣きやんで立ち去りなさいといふことをモットーにして教へました。今一つ金をもつてをると成功があくれるといつてやりました。十セントもつて居れば一年だけおくれる、百セントあれば十年おくれる。何故かといふと金にたよるからです。すつからかんになつてしまぬとほんとうに立ち上れないものです。」

引會「一寸棍を向かへます。經濟面と精神面とががちりと組合つて既成。ルル田がわがバストス市街地でありませう。一方アリアサの標に市街地といふものを全く構成しない植民地もあるわけだ。ことに組合運動が旺盛になつて来て百姓が生産物購買物の自覚に目醒めて来る。バストスの如き小村は將來かういふ風になつていくか、商人の立場として太郎田さんが重道さんに一ツ

都市中心主義

重道「新農村を体論するも都市を中心として考へて居る。都市が中心となりそれに従属するものが田舎である。所が發達すれば周囲はそれに伴つて榮えてゆく。ルル田の例を挙げてもみますとルル田はソコ銀與地の大都市であるが爲めに、その周囲の悪い土地を耕作してゐる人も多い。彼らは土地は悪くても、かまわぬ文化を好むといふの

リーファ 當籤番号御しらせ

- 一等 百六十一番 No. 161
- 二等 四百番 No. 400
- 三等 六百廿一番 No. 621

過日売出中でありました当体育局支局祭行のリーファは皆様の絶大な御後援のもとに、初期の金額に達し計畫のシエンディアイ近郊農事視察を有意義に行はしたことに厚く御礼申上げます

公約の通り十月廿一日開票のロテリア、フェラールにより前記番号の方々に賞品をお渡し致します故お手数下り、お選者番号を御持参の上左記へおいで下さい

聖州体育局バストス支局(縣資本部)
バストス商業事務所内 西

御礼 広告

一金貳百五拾針也 宮崎將義様より
右は御尊父市太郎殿死去御葬儀に際し香奠返の代りとして當會基金に御寄贈下さり厚く御礼申上げます

昭和八年十一月三日
バストス佛教會

御 礼

一金五百針也 宮崎將義様
貴下嚴父御逝去に際し香奠返しを瘞し當校建築費へ御寄贈下さつたことを深謝いたします

一九五三年七月五日

バストス家政女學校増築委員會
會計 山中陽之助
上 西 泰 治

です。子供の教育面であるとか、娯楽面、又、文化的の面では都会によりなれば之を求めることが出来ない、田舎ではそれを求める出来ない、之に代りある知人の場合の話ですが、都会がたんに大々々なれば田舎もそれに付れて大きく且つ付けてきます。次は三男たちに勉学させようと思つても之を聖市遊學せしめることは大へんだ。ルル田の位の都市であれば可なり上の学校もあり自家かつ通子させるとも可能です。田舎を繁榮させることは、先づ大都會果中論から始まる、だが都市だと商人のみ多く商業都市ではいけません。工業を第一とすることと思ひます。町が大きければ移民政策も町を忠心に養つてあげては行かないかと思ふんです。鳥取県知事の西屋愛治氏の言です。鳥取県は長野県と同じで畑が少い、それで工業を盛んにするより興隆の道なしてバルバ及紡績を興すと云つて居ます。バストスなかもどうでしょう。バルバなどの工業をおこしては、パイネウはその材料として優秀だといひます。農村の繁榮を都市依存に移行せしめる一方策として工業を取り入れることを申す所度いひます (以下次号)